〔一〕　第七十九號　THE TAIRASHIMPO　昭和四年二月十五日　（大正十四年十二月一日第三種郵便物認可）

平新報

發行日毎月三回五ノ日發行
編輯兼發行印刷人　山野邊庄吉
發行所　福島縣平町二丁目二番地　平新報社
廣告料五號十二字詰一行一回五十錢　場所指定倍增
一部定價金十錢送料五厘

高野、中山諸範、教士を招きて十七日發會式を揚げんとする

磐城劍道會の陣容

それが趣意と規約役員

廣く尚武の士同好者の賛同を希む

磐城中學校出身劍道同好者の叫びにより御大典記念事業として生れた磐城劍道會は地方同好者の共鳴熱なるものあり來る拾七日平町舊郡役所會議室に於て第一總會を兼ね東京よりは高野佐三郎、中山博道外拾數名の範教士來平華々しく發會式を揚ぐる事となり、かつて地方に見られぬ意義あるものとして期待されて居る、其會の趣意書、規約役員の内定せるもの左の如く。

趣意書

晩近世運の隆盛駸々乎として進みつゝあるは誠に慶賀にたへず然るにひるがへつて其一面をみるに輕佻詭激の弊風又漸く兆しのびんとする國家の路上に大なる障害を生じつゝあるは國家の一員として遺憾にたへざる所なり

さて國家の發展に剛健なる精神と健全なる身体とを有する國民を必要とすることは言をまたず

今や我等は徒に泰西文明の糟糠をのみ嘗むるをこゝろよしとせず、建國の精神に立かへり國家本來の特質に即したる生活をなすことによりて始めて意義ある國家を建設し得るものと信ずるものなり

この意味に於て我等日頃我國古來の劍道を以て鄕土の思想善導風致改善に貢献し併せて劍道修業者相互の連系をはかり技術の錬磨と心身の鍛錬とに資せんと考へ居たり

然るに今回あたかも曠古の御大典に際會し國民ひとしく聖壽の萬歲を奉祝し國家の前途を祝福するの時に當り之を機とし我々同好者集り劍道會を組織し相攜相援けて報國盡忠の赤誠を披瀝せんことを計り近日發會式を擧げんとす

さり乍ら我等確固たる信念のもとに大なる抱負を以て會將來の發展に力めんと誓へども固より不敏にして充分に所期の目的を遂成せしめ得るや否やはひそかに恐る所只地方有志諸賢の御後援を仰ぎてこそ始めて事業の確實なる基礎を作り將來の發展を見るを得べし、こひねがはくば我等の微意に御同情の上會の成立發展の爲に一臂の御援助を賜らん事を

會規

第一條　本會は磐城劍道會と稱す

第二條　本會は大日本武德會の趣旨を體し會員相互の親睦と斯道の錬磨とをはかり併せて地方劍道界の發展を期し武道精神を普及するを以て目的とす

第三條　本會は磐城地方に住居する劍道修業者にして本會に賛したるを以て正會員となす

第四條　本會の主旨を賛成し之を援助する者を特別會員とす

第五條　本會の事務所を當分の内福島縣立磐城中學校内に置く

第六條　本會に左の役員をおく

會長　一名
副會長　一名
幹事　若干名
會計　一名
評議員　若干名
顧問　若干名

第七條　會長は本會を統轄す

副會長は會員より互選とし幹事及會計評議員は會長之れを指命とし任期は二ケ年とす

第八條　副會長は會長を補佐し會長事故ある時は其職務を代理す

第九條　幹事は會長の指揮を受け會務を處理す

第十條　會計は會長の指揮を受け本會會計事務を掌理す

第十一條　評議員は會長の指揮を受け幹事を補佐す

第十二條　顧問は本會の諮問機關として意見を徵するものとす

第十三條　會員は會費を總會の際に納附するものとす　但有段者一圓他は五十錢とす

第十四條　本會の目的を達成する爲左の事項を行ふ

1春秋二回の總會を開き同時に試合を行ふ

2大日本武德會の規定たる一級劍士を養成し審查會に於て有段の資格ありと認むる者に對し之を推薦の上旅費を支給し受驗せしむるものとす

第十五條　會計は年一回總會にて之を報告す

第十六條　本會會則の改正を要する場合は總會出席員の三分の二以上の賛成を得會長の承認を得て實行するものとす

役員（順序不同）

一、顧問

磐中校長　鹿士齋治
平町長　伏見彦衛
平署長　猪狩淸
平商校長　吉田利吉
植田署長　後藤淸喜
四倉署長　水谷智造
任郷軍人聯合分會長　四家条治
任郷軍人平分會長　山崎淸三
柔道會長　諸橋守次
古河炭礦長　三井炭礦長
入山採炭長　磐城炭礦長
堀江正直　松本茂太郎
刑務所長　坪野松爲三郎
室直與　佐藤恕

一、會長　加藤丈夫

一、副會長　小野寛美

一、幹事

鈴木忠正　澤田榮
山部隆雄　山野邊庄吉
七海寅吉　高木善枝
藤井一　松本慕平
酒井忠太　水木泰一

一、會計　藤井一

一、評議員

河田梅吉　大塚
小松武勇　庄司政之保
今野斌　廰原吉五郎
藥谷久太郎　池田大助
五十嵐淸　根本正行
鈴木平　中川冲之助
高木長平　草野亥子治
藤田淺之助　小松作次郎
水竹仁　塙操
佐藤信昂　松本傳衛
順藤肇　助川保

◇本紙發送先芳名　昭和四年一月末現在（活字の都合上敬語略）

▽平町の部
◎一丁目
藤井一術　高瀨勝男
應崎貞屋　坂本紙店
會津屋　石川平之助
比佐信太郎　久野柳
河内屋商店　佐藤塗物店
赤津人力立場　日進堂本店
飯田一二　大平藥店
　　　渡邊貫一
和久井屋　坂本塾舍
◎二丁目
谷口樓　方圓堂
阿部助次郎　平銀行
田巻香油店　花澤米穀店
三井履物店　鍋嘉支店
關内油店　鶴屋旅館
中野洋品店　大一屋
茗荷屋金物店　かみや呉服店
大村屋旅館　藤倉市
越ノ家　近藤吉
　　　小松崎洗張店
　　　山家メリヤス店
相澤菓子店　西村屋藥舖
北海屋　淸光堂書店
石川友次郎　なかや洋服店
山崎活版所　遠藤帽子店
白土屋荒物店　紙屋米穀店
住吉屋分店　柏原呉服店
　　　三井分店
◎參町目
山本屋旅館　三井呉服店
昆配給所　大谷時計店
梅原利三郎　和田禎宗
龜田屋呉服店　永木八五郎
丸ほん　大黑屋洋品店
　　　七十七銀行平支店
　　　中野呉服店
タカキヤ　渡邊藥局
◎四丁目
三井質店　新妻文吾
　　　スガノヤ提灯店
　　　柴田書店
鶴屋洋品店　中村佐治助
佐瀬歯科醫院　伊勢屋荒物店
磐城實業銀行　
宍戸屋鮮魚店　關内藥舖

山城屋　小野藥店
　　　由良之助小賣部
◎五丁目
農工支店　安部六三郎
磐城建物會社　吉田屋菓子店
吉田鐵工場　山野邊藥局
　　　酒井桶店
玉木屋　釜屋商店
大竹酒店　馬目武之助
◎六丁目
木村外科醫院　諸橋久四郎
◎七丁目　志賀兵吉
◎新川町
佐川渉　松崎硝子店
吉田定太郎　佐藤材木店
中野勇吉　木村貫次郎
高野益造　谷屋呉服店
田中ブリキ店　三森巳代松
柏屋綿店　薄葉巳之松
新藤屋本店　松崎長三郎
諸橋呉服店　松崎房次郎
◎月見町
　　　佐藤鐵工場
◎南町
大和家　淸野キヨ
鈴木堅助　小松茂
松本樓　小野信一郎
青木秀次　岡田政次郎
松村病院　上田外科醫院
山田盤醫　原野貫三
只野忠康　本間綿店
涌井兼作　鈴木茂
大泉商店　磐越銀行
磐城共濟病院　馬目誠
鈴木彌太郎　織田歯科醫院
大和田郡司　根本産科醫院
酒井醫院　大森醫院
九昌軒内静子　鈴木歯科醫院
織田榮三郎　松田卯次郎
　　　磐城殖産合同會社
　　　玉よし
◎仲町
佐藤傳之助　二葉印刷所
　　　小松崎洗張支店
◎鍛冶町
田作吉　吉田呉服店

小松洗濯店　伊坂道雄
山野邊久利　玉川
中野甲藏　渡邊整骨療院
◎堂の前
　　　磐城訓盲院
◎大町
河田梅吉　鈴木新男
◎十五町目　吉土齊治
◎材木町
新妻床屋　阿部太平
櫛田材木店　緑川材木店
◎研町
吉村綿店　久保木米店
佐々木嘉平　宗像金物店
鈴木眼科醫院　阿部材木店
　　　佐藤芳松
◎長橋町
小野圓次郎　吉村白水
小野里吉　荒川銀治
◎古鍛冶町
大和田與平　永野虎三郎
　　　瑞山正男
◎紺屋町
玉川酒店　大川屋菓子店
吉田眼科醫院　加納五郎
藤沼醫院　炭屋旅館
扇屋旅館　住吉屋本店
◎上橋通
　　　山崎合名會社
佐々木建一郎　山崎淸三
大正活版所　原醫院
◎撥槌小路
山野邊義政　山岸幸作
馬目酒店　堀江工業會社
馬里文平　酒井嘉代正
堀魁文堂　瀨尾藥店
乾書店　平陽女學校
門傳淸吾　公會
吉田廣三郎　阿部政右工門
　　　吉田五平
◎田町
野崎喜八郎　高野得助
松月堂　阿部石炭店
吉進堂支店　高久病院
賀川醫院　猪狩千勝
平運輸會社　丸新館

關内油槽所　森本盛一
三二三屋　市原病院
大床　石川亭
住吉屋支店　安齋外科醫院
五十嵐酒店　一〇商店
三島家　山形家
福榮亭　松本榮一
ライト寫眞館　三好家
やぶそば　末廣
青柳　梅の湯
白菊酒店　藤田女學校
榮家　島勇
叶家　橋家
千葉秀治　初音
仲家　福淸
品澤アク　角屋長谷川
壽々喜亭　大貞
眞佐の家　開北
吉野家　内長松
竹本　驛前八幡屋
二葉家松葉　金子洋服店
水道部　香野利
町役場内　伏見彦衛
◎白銀町
淸水醫院　吉田新聞店
高橋龜松　木田洋服店
諸根驛前　新藤屋支店
櫻井章　高木
丸市屋　伊藤
石島陸陽館　驛前益子屋
水戸屋旅館　菅野虎雄
◎大工町
　　　加藤丈夫
志賀興市　中村材木店
磐炭發電所　酒井爲吉
　　　多田井質店
　　　東部電力平營業所
　　　鈴木鐵工所
◎北目町
鈴木久二　大河原金之助
◎城山
山崎光雄　武川信夫
佑賢學舍　松本幸平
同　大平壽男
昭和中等學校　平塚二郎
　　　磐城高等女學校

小野寛美　小泉宗雄
大和田豐吉　青木貴一郎
◎鎌田町
小泉謙吉　山崎宣吉
　　　岡田千藏
酒井龍之進　草野七五三之助
大正洋瓦工業社　長谷川徳代
大正洋瓦工業社　根本毅一
　　　社内谷島篤男
◎久保町
　　　阿部治作
會川延太郎　蛭田利光
鈴木茂平　遠藤平太
永山義太郎　永山和平
◎高月臺
磐城中學校職員交誼會
磐城中學校下　橋本芳太郎
◎大館
明賢寺　藤内祐内
菩提院　桐原英紬
◎八幡小路
松井深　本多麟太郎
　　　大塚保
◎テズミ坂　刑務所
　　　安藤信興
◎胡摩澤
桐谷クニ　高濱兼義
　　　花澤久一郎
◎場土臺
第二小學校　長谷川政
第二小學校　佐藤一
第一小學校　曾我直治
子鍬倉神社　山部正勇
　　　商業學校
◎仲間町
九品寺　今野斌
　　　廣田徳行
◎公園内
さきわ　尼子亭
◎四軒町　百花園
◎番匠町　堀江正茂

磐城共濟病院組織

內科小兒科（院長毎日診療）
院長　醫學博士　難波陸
副院長　醫學士　五十嵐雄二
內科部長　中西林藏

外科專門
內臟外科　整形外科　レントゲン科
外科部長　醫學士　氏家憲介
毎日曜 手術　醫學博士　鈴木退輔

產婦人科　女子泌尿科　レントゲン科
產婦人科部長　醫學士　五十嵐雄二
顧問　醫學博士　川添正道

×光線科
主任　醫學博士　難波陸

本院醫事法制囑託　法學士　岡蕃
本院主事　賀澤忠治

御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
一病氣相談所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
一救療所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始

磐城共濟會
平町　電話六四一番

防寒具の御用意は！
トンビ　九、〇〇ヨリ
オーバ　七、〇〇ヨリ
モヂリ　四、五〇ヨリ
なかや洋服店
平町貳丁目（電二〇三）

理化學研究所製
吸入用酸素・酸素吸入器
優良ナル理研ノ酸素ノ御用意ヲ
平町四丁目
關内藥舖
藥劑師　關內榮助
電話四〇番

磐城セメント代理店
西村屋藥舖
平町二丁目
電話四三番

內科外科一般診療
片岡醫院
片岡鎌三郎
湯本町驛前

植田町
本町
[illegible]

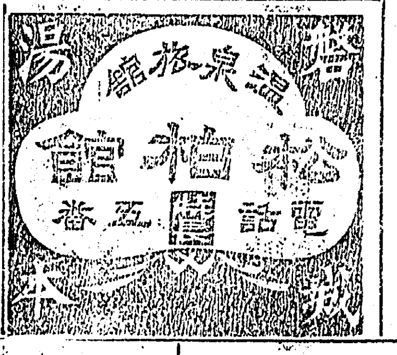
平町南町
[illegible]
×光線科
電話一二九番

內科小兒科皮膚科
藤名醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

植田町
片岡醫院
院長慈惠醫學士
片岡章
電話一〇七番

日本石油株式會社特約店
平町三丁目
油問屋　關内油店
關内正一
電話八十六番　三十九番
支店　山市驛前　電話三二八番
支店油槽所　茨城縣多賀郡關本驛前　電話平潟三七番

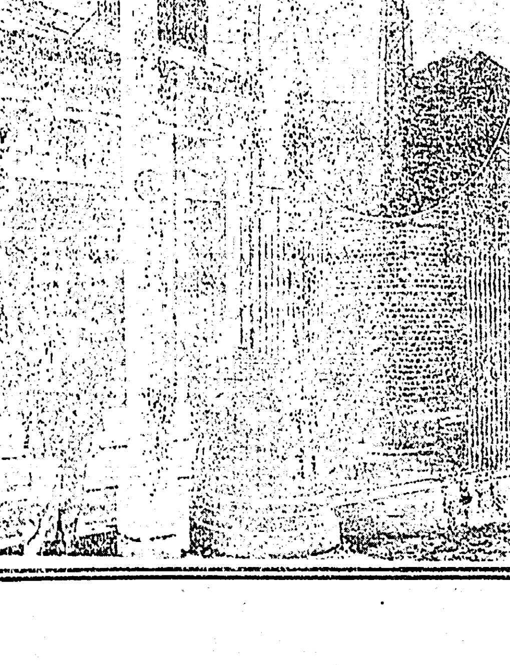
不思議な滋強靈液
まむしのエキス
本酒を用ひて適切に靈能の分る人々
養命酒は酒にして酒に非ず藥餌用として御婦人にも用ひ易く强力なる榮養素は惡疫を豫防し萬病を擊退する眞に健康の好伴侶なり榮養を貴ぶ人は勿論殊に○胃腸病○神經衰弱○精力減退○貧血結核素質者○不眠症○病後衰弱○婦人病ヒステリー○勉强性○は激務に疲れ易き人○健康者朝夕の一杯元氣旺盛又は其他慢性諸病に惱み醫藥に効なき方は論より證據先づ一瓶を試み其眞價を知り御愛飲あらん事を御薦めいたします
▽大瓶　五八〇瓦入　金貳圓
▽中瓶　四〇〇瓦入　金壹圓五拾錢
△四季の御進物用又は病氣の御見舞品として最も好適で御座います
代理店　平町五丁目　山野邊藥局
藥劑師　山野邊東次郎


湯本
温泉旅館
松柏館
電話五番

高久病院
平町田町
電話五三二番

書籍文房具類の御用は
平町貳丁目
清水屋書店に
電話百參拾壹番

サビナイ。ヤケナイ。クサラナイ
石綿セメント製
朝日煙突
耐水。耐火。美麗。廉價
磐城セメント特約販賣店



和洋銅鐵金物
平町五丁目
金屋商店
電話九番・二二九番
振替貯金口座東京一〇九五六番

◇良品廉價に勝る商略なし　確實敏速は㊎の生命なり

建國の昔に還れ

玉川村　齋藤晃

民族 の理想はその建國にあたつての精神的内容によつて知られるのである彼の猶太民族が離合集散常なく、全世界に分布して今尙國家を有せずとも彼等は理想を有してゐる、やがて理想實現を歩みつゝ經濟の覇權を握らんとしてゐるのだ。

況ん や建國すでに二千六百年、天壤無窮の肇國の大詔は愈萬代に耀きを增す日東帝國の建國に理想なくして如何せん。

神武 聖帝即位の大禮を行はせらるゝにあたり正ヲ養フノ心ヲ弘メ、然ル後六合ヲ兼テ都ヲ開キ、八紘ヲ掩フテ宇トナサンの大宣言を發して我建國の理想を明示されたのである慶びと輝きに充つる正義の心を以て世界を包むのが我天業民族の理想なのだ。

世界 の平和は釋尊もキリストも最後の目的としたけれども、唯に筋書として思想的に殘したにすぎぬその中に於て天地を貫く正義の理想を國家の生命とし着々として理想建設に邁進して變らざる事三千年になんなんとする一君萬臣の靈姿こそ世界の謎ではなからうか。

理想 は實現を待つて初めて完成するのだ、現實に打ち建てんとする努力によつて意義づけられる。思ふに我建國は世界絶對平和實現の爲であるのだ、此の聖業の盟主が天皇に在りてその翼讃者となり、活動の任に從ふのが臣民である。明治大帝は『皇運ヲ扶翼スベシ』と教育勅語に仰せられてゐる。これこそ天地と共に限りなき内容を有する堂々さであるのだ。あゝ二千五百八十九回の建國記念日は來る、あの大古に於てすら整然として崇高、併も莊嚴なりし世界君臨の大儀式を追憶せよ、變幻極りなき無數の國家の中に於て堂々の理想を以て一貫せる日本の歷史を顧る時國民としての感激は限りないのだ。

建國 の昔にかへれ！建國の當初すでに我等の進路を示されて居る、國民の活動は一に國家の理想によらなければならぬ。

古き を知る事は新しき力を產み出す事なのだ。隣國の理想を謳歌して亡國の道を彷徨ふ前に先づ誇る可き我建國の理想の耀くを知れ。

第四回建國祭は國民のすべてをあげて行はれなければならぬ、此の日こそ精神日本の復興する時であり、國民精神作興の記念日である。

人々 よ！誇る可き日本の名の下に集れ、今日こそなつかしき名日本の誕生日なのだ、我等の祖先に無量の感謝を捧げ、建國の理想實現の爲めに一歩々々進むのだ、聲高く神武天皇にかへれと絶叫して根强い國体精神の喚起を促すものである。

我等 の政治も、敎育も、我等の實業も國家の生命と一致して動く時初めて昭和の榮光に耀く新生の日本を產み出すのだ。

（四、二、六、記）

貴族院議員補缺選擧

濱通は根本候補安全地

さすが特級は政友の牙城

氏のため熱走する政友派の善策

本縣財界の巨星八島田御殿主と迄謳はれたる吉野周太郎氏の失格からそれが貴族院議員補缺選擧として政友會側からは諸橋久太郎氏の出馬を噂されて居つたが同氏病軀のため郡山市の根本祐太郎氏立候補するに至り一方民政黨側からは福島の大島要三氏立候補し此處に雌雄を決す事となり兩派秘術を盡して力戰中である、縣下二百の有權者の投票をどう行はれるか、投票日は本月十三日である、當濱三郡方面を觀るに双葉郡には有權者なく、相馬郡拾三名中民政黨一名中立二名他は政友系と見られて居り石城郡の有權者は左の拾五名で大平氏を除き他政友系であり諸橋氏病氣のため棄權と見て拾三票は根本候補を推すものであらふ、此處に石城地方選擧運動振りを觀るに根本候補と×××××安島重三郎、山田盤應の諸氏、大村屋旅館に事務所を設けて熱走怠りなく一方大島候補の事務所は民政黨支部に置き野崎、若松、萩原吉田の諸氏これに當り、去る七日鈴木、釘本、氏家清氏等來平せるもなすなく引き上げたるもの丶如く石城郡は絶對根本候補の優勢であつて郡山方面も橋本萬右衛門氏かつて根本氏より應援をうけたる義理合より郡山は地下これ又根本候補の優勢たるべく若松方面は民政黨優勢、福島市方面、郡山より二人の議員を出すの要なくと大島氏晩年の花を咲かせたいとの見地から大島氏優勢と見られて居るから要は縣北が勝敗の分岐の地とせられて居る、要は政民の戰にて若し大島氏勝たば民政系二名となるので根本候補は必勝を期して奮戰中である。『二月七日記』

本郡の有權者

◆平町　中野勇吉、諸橋久太郎、百澤易與、堀江正茂、山崎與三郎、丸山慶治、吉田由三郎、◆内郷村　加藤丈夫、◆飯野村　和田龍太郎、◆上小川村　草野晴次郎、◆泉村　江尻博孝◆勿來町　赤津庄兵衛、大平睦四郎、小松彌次郎、◆川前村　兒玉萬平

再び肺結核の豫防に付て〔二〕

湯本町　片岡鎌三郎

慢性胃腸衰弱とか、盲腸炎の慢性甲狀腺機能亢進症、本能的神經衰弱等は、肺結核初期と類似するが、殊に梅毒は最も近似の病狀を呈するを、最も注意して區別する必要がある。

結核は普遍的病氣であるから、先づ目標を、茲に置かなくてはならぬ、具体的に一歩を進めて云ひば、潜在結核は混雜した、群集の中へ出れば、非常に疲勞を感ずるから、物見遊山に出掛る時と、歸る時とは、まるで人相も違ふようになつて眼が深く、クボミ、如何にも消衰した樣な、恰好になる、こんな事は、潜在結核に惡い影響である、潜在結核者は、先天的に結核菌に對し、抵抗が强いから、餘程永續して、無理をすれば別だが、中々ほんものの、肺結核病者にはならない。丁度身体の抵抗力と、結核菌の毒力とが、可成長く相對抗して持久戰をやつてる狀態である、或動機で、抵抗力が弱ると、結核菌が徐々擡頭して、毒牙を伸べ樣とする、そこで個体が疲勞する、食慾が減退する、精神狀態に及んで、自然休息を要求する、睡眠をむさぼる、安靜恢復後に、營養を要求する樣になるのである今度は個体の對結核力が增進して、來るそうなれば、結核の方が鋭鋒を靜めるから、漸次休戰狀態をとる。こんな事を繰返してるから結核病竈が、治つたでもなく、それかと云つて、ほんもの丶肺病にもならず、年から年中、小心翼々、不平だら／＼生活を續けてゐる結核菌は、大部分小兒期に感染して、保菌してることは、人類に非常な幸福なのだ、何どなれば、感染を受けてから、不知不識の間に徐々ながら、免疫性が賦與されつゝあるから、後に再感染しても、之れに對抗して、發病しないですむ、だから有名な『ベーリング』氏は、肺結核は初め、小兒期に受けて、成人後、内因的原因（多く身神の過勞）で個体の抵抗が弱くなつた時、爆發して肺癆となるのだと其間に長い歳月を經過してるのだ、故に醫者が見ても容易に分るものでないのも無理からぬことであると。

要するに吾人文明國に住む人は、誰れでも結核菌の侵襲は、免れないのである。醫診に生涯を通じて、平均五ヶ年間、結核病に罹らぬ人は無しと、當らずと雖遠からずである、巴里小兒病院で、解剖の結果一歳二歳迄の、死亡兒、約八分の一は、結核病竈があつた、二歳三歳四歳迄は、六分の二三歳四歳迄六分の四、四歳五歳迄は四分の三が、結核病である。

之れ程明確な立證は無い、斯くて吾々は免疫を得つゝ成人となる、夫れが幸福である、けれども、山間僻地か、未開地に住む者は、結核菌に感染しない者がある斯る土地を、結核の處女地ども、素地とも云ふ、之れに反し文明の地は、往々として結核菌が散在してる處を、所云文化の地、即結核の馴地と云ふのである、其の處女地から、可憐な娘さん達が、都に憬がれて、紡績女工とか、看護婦とか、行儀見習ひとか云つて、馴地へ入り込む、時、不幸にして彼女等が結核菌に感染すれば、忽ち重症肺癆（癆と云ふ字は必ず死す）となり、鄕土に歸り、忽ち父母同胞に容易に傳染せしめ殆ど急性傳染病の如く、猛威を逞ふし、一家全滅、隣家に及ぼし、其の鄕土絶滅せしむる悲慘事は、學者によりて報告せられてある、確證の事實がある。

同じ理で、小兒も免疫が無いから、小兒結核は、猛烈で殆ど死を免れない、多くは腦膜炎とか、消化不良とか、腹膜炎、助膜炎とか急性肺炎など、別名で葬られるのが常である、（此種の結核は存外多數であると思ふ故に吾人が、文明的生活を續けて、活動するには、馴地に在て、結核感染を受け徐々ながら免疫を受ければ他日重感染して、濃厚活動菌の侵襲を受けても、抵抗が强くなるから、發病しない、夫婦間、同棲して發病しない者は、澤山ある、一家一人罹つて、他は罹病しない例も澤山ある、そういふ譯で、今日成人になる迄に結核感染を受けない者は、殆ど無いと云ふ事は、確乎不拔の定說である、斯くて潜在結核が、或動機で爆發するには、濃厚な强活動性菌を遡回感染する時とか、折角眠つてる菌を、醒させると同一理だ、けれども重感染發病は、極めて少ない發病百人中八人、英獨では二人半、或學者は精神病の發病位だと云ふ程、傳染發病は少いのであるから無暗に傳染を恐怖するのは猿の尻笑ひだ云はれてある。

新川柳

己年初會席上吟

一月十四日平町梅の湯樓上にて

題「腰」　選者　佐瀨劍珍坊先生

前拔

北の風一日腰を叩いてる　十寸叟
盛り返す氣の南洋で腰を据え　新平
腰掛けの積りが終に主任なり　十寸叟
出の衣裳矢鱈に腰へ卷きつける　同
登山者の弱腰ひとり押してやり　あきら
腰强く出る女房へ押し默り　新平
忙しい事を云ひ／＼腰を据え　十寸叟
除隊兵どうやら腰が淋しさう　同
腰卷が棟に建つてる近い火事　同
殖民地腰の据らぬ日を送り　新平
腰役げといふ手女房可笑しがり　十寸叟
雪模樣腰掛茶屋で氣が殺り　狂水

三等

腰押しがあるので馬鹿に金がいり　文狂
言ひ分があり上役へ腰を据え　狂水

二等

智慧袋腰巾着の名に終り　東天紅

一等

ダンス今ジャズに合せる腰になり　新平

選者追吟

腰衣元の名で來るふみに泣き
腰へ手をあて丶拍手を辯士待ち

題「肩」　互選

肩書が過ぎて就職手間が取れ　新平
負けそうになつて應援肩が張り　東天紅
肩で息亭主を使ふ癖がつき　劍珍坊
肩上げがとれてそろ／＼世事に長け　あきら
音信れる肩身が狹い臺所　文狂
肩を入れすぎて辯護士疑ぐられ　新平
肩の手が震いダンスの亂れ足　東天紅
肩掛けの色に女房趣味を見せ　新平
鉛筆をなめて巡査は肩を張り　東
肩車親仁の笑顔親子の笑顔　十寸叟

題「澤山」　互選

澤山な判を並べる陳情書　十寸叟
澤山といふ約束で子は眠り　劍珍坊
里の母ドッサリ背負つて會ひに來る　東天紅
澤山な花輪も後家は淋しがり　新平
酒だけは澤山あると幹事云ひ　文狂
茶の所望腑のあたりを撫でゝ見せ　劍珍坊
屠蘇機嫌もう澤山へ酌をさせ　新平
初手つからもう澤山で飲んで居る　文狂
安部川の盛り澤山に弱らされ　十寸叟
バスケットあれもこれもに重くなり　新平

遇吟

不醉庵主人

平々凡々七拾年、茶飲世事談、是眞太平無事人

田家朝

草野生

山畑は土かくされてなだらかに
里の家なみ初日たゝよふ

嬉しき里四五軒や鍬始

◆谷口より要『かなめ』と名乘る姥櫻福島よりの輸入さぞや過ぎしスゴ腕目ざましからふ、一生に一度、〇下して見たいとかは滿更ではないらしい。玉川より玉太郎と披露目す◆久本の小夜子は東京下り丸の素人とあるが三スヂは自家仕込みは級第点との事義俠の勇士は須らく虫のつかぬうち落籍する事だテ。◆谷口の喜多子おとなしいのと座敷なれして居るので一本姐さん同樣變態性連にらもてる由何よりの事。◆竹の家の磯壽一の非である客に一五〇貸したとか飲んで勘定が足らなかつたらこの妓を呼んで一時借用する事だ但し利子は日歩拾割の事で玉は二本ですます六本

二日市大賣出し

☒學生用カバン手提カバン　新型新品新安値
☒兒童用背嚢　市價の二割安
☒軟球用ラケット　二圓より八圓まで　四圓の細型は實用輕快
☒小供用ラケット　七十五錢より立派なガット、重さの加減世間ザラにあるおもちや品に非ず
☒ドッチボールフットボール　子供用一圓五拾錢より製造職方即拙店へ値段の安いのが當然
☒特製ノート　罫式色々十五錢均一紙質、綴ぢ方表紙皆當店獨持の逸品
☒萬年筆、シャープペンシル、筆入紙狹
☒額椽洋書用品　皆最優品

柴田書店
平町四、停車場通り

吉例舊正二日景品附初賣

平町四丁目
荒物商　伊勢屋
電話四五番

(久)　釜屋の初賣!!

舊正月二日
午前二時より

廣大無邊の御愛顧に對し初賣景品は特に奮發仕候

混雜中時間と御手數を省く

商品券
金拾圓
金貳拾圓
金參拾圓
金五拾圓
金壹百圓

當日限り特に發賣
何卒御利用下さい

和洋銅鐵金物商
(久)
釜屋商店
平町五丁目
電話一九 一三九番

景品附大賣出し

舊正月二日、三日

平町　鹽屋
∧吉　山崎合名會社
電話一〇番、二七番

お買物はどうぞ三井へ

舊正月二日三日の二日間
二日は午前一時開店
お早いがお徳　午前一時より仝五時迄の御客樣へ福袋呈上
吉例に依り大々的景品呈上

御買上高

金五圓以上	手拭	壹反
金十圓以上	實用フトン縞	壹反
金二十圓以上	新銘仙	壹反
金參拾圓以上	本紡績	壹反
金五拾圓以上	高貴織	壹反
金百圓以上	東コート	壹枚
金百五拾圓以上	丸帶	壹本

御買上の多少に不拘美景呈上可仕候
◎商品券をお求め下さい當日混雜しますから
例年の通りネル切大廉賣

三井呉服店
平町　電話　三八　七五一番

平町驛前通り
みりんぼし
松の壽し
電話七三七番

吉例景品附大賣出し

年一回の奉仕的……賣出し
舊正月二日午前二時より
豊富な、商品と、一大奮發せる藥品とを取揃え
各位の御來店を歡迎す
各家庭藥……滋養藥品の御買ひ上げは是非弊局へ

平町五丁目角
山野邊藥局

中野呉服店の吉例初賣市

◎大特價品提供
◎福袋……御一人一個限り金一圓也
當日は如何程御買上の御方にも御一人一個弊店獨特の　玉手箱進呈
『但數に限りありますから御早いが勝ち』

御買上二百圓　上等江戸褄
同　百五十圓　ラクダコート
同　百圓　上等高貴織
同　六十圓　高貴織
同　三十圓　名仙
新名仙
二十圓以下景品山の如し

二日初賣市は非常に混雜ですから特に商品券の御利用を御願致します

(亀)　中野呉服店
平三丁目　電話六十七番

吉例舊正二日景品附初賣

平町二丁目
荒物商　大一屋
電話一三番